

厚生労働科学研究費補助金（障害者政策総合研究事業）  
（総括・分担）研究報告書

聴覚障害児に対する人工内耳植込術施行前後の効果的な療育手法の開発等に資する研究

研究分担者 堀内 伊吹 | 長崎大学教育学部 教授

研究要旨

本研究では、CI埋込術施工後の適切な療育手法にかかるガイドラインの作成のため、CQ -3「音楽療育は音声言語獲得に有効か（またその方法は）」を作成に当たっている。初年度は、関連論文のシステムティックレビュー（SR）を行なった。

A. 研究目的

人工内耳埋込術施工後の適切な療育手法にかかるガイドラインの作成のため、クリニカルクエスション（CQ） -3「音楽療育は音声言語獲得に有効か（またその方法は）」作成を目的とする。

B. 研究方法

以下の方法で、CQ 作成準備および取りまとめを行なった。

- (1)SRの準備：Pubmed、The Cochrane Library、医中誌 Web において、該当する先行研究を検索。その後、Pubmed に焦点を絞り、検索式：  
("Cochlear Implant\*" OR "Hearing Loss"[Mesh]) AND ("music therapy" OR "music training" OR "music appreciation" OR "music perception") で検索。これにより、264 件 (Best match) が該当した。
- (2)第 1 次スクリーニングとして、タイトル、アブストラクトから 12 件を選択した。
- (3)チームにおいて、第 2 次スクリーニングを行い、Abstract table 作成と Evidence level 評価を行なった。  
(倫理面への配慮)  
先行論文調査と評価であるため、該当ありません。

C. 研究結果

SRの結果、論文のEvidence levelは、Ib～ と評価されている(2020/3/31)。

D. 考察

音楽の認知および言語獲得のメカニズムは、様々な研究分野からのアプローチにより、次第に明らかになっている。しかし両者をつなぐ実証的研究は少ない。本 CQ において、推奨を満たすエビデンスの抽出が課題である。

E. 結論

SRの結果を基に、CQに対する推奨文章をチームでの合議により作成する。

F. 健康危険情報

(分担研究報告書には記入せずに、総括研究報告書にまとめて記入)

G. 研究発表

1. 論文発表  
該当なし

2. 学会発表  
該当なし

H. 知的財産権の出願・登録状況  
(予定を含む。)

1. 特許取得  
該当なし

2. 実用新案登録  
該当なし

3. その他  
該当なし